

お客様各位

株式会社 セゾン情報システムズ
カスタマーサービスセンター

DataMagic の CSV ファイル囲み文字処理時のデータ化けについて

平素より、テクニカルサポートサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。
DataMagic Ver.3 において、CSV ファイルの囲み文字の処理に以下の不具合が判明したため
ご報告申し上げます。DataMagic Ver.3 をご利用のお客様は、以下内容をご確認ください。

－記－

1. 対象製品及びバージョン

DataMagic Ver.3.0.0 ～ Ver.3.1.7

2. 影響範囲

DataMagic にて文字コードに UTF-16 を使用し、CSV ファイルの出力機能を利用している
場合

3. 発生事象

システム動作環境設定ファイル (huledenv.conf) の「囲み文字と同じ値をエスケープする
(ed_csv_enclosefields)」に"1" (エスケープする) が指定されており、UTF-16 形式の CSV
ファイルを出力する場合、正常終了しているにも関わらず、囲み文字のバイト列を反転
した不要な文字が出力されることがあります。

例)

囲み文字 "(22 00)の場合

変換前 ∞ (1E22) △ (0030) ※△は全角スペース

変換後 ∞ (1E22) ∇ (0022) △ (0030)

※本来は囲み文字に該当しないため変換されません。

4. 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- ・ 出力ファイルの文字コードが UTF-16
- ・ 出力ファイル形式が CSV
- ・ システム動作環境設定ファイル (huledenv.conf) の「囲み文字と同じ値をエスケープする (ed_csv_enclosefields)」に"1" (エスケープする) が指定されている。
- ・ 本来出力されるべき出力ファイルのバイト列に文字間を跨る形で囲み文字と同じバイト列が含まれる。

5. 回避策

- ・ UTF-16 形式の CSV ファイルを出力する場合、システム動作環境設定ファイル (huledenv.conf) の「囲み文字と同じ値をエスケープする (ed_csv_enclosefields)」に "0" (エスケープしない) を指定してください。
- ・ 囲み文字と同じ値をエスケープしたい場合、REPLACE_REG 関数を用いてエスケープ処理を作成してください。

6. 今後の対応

次期リリースでの修正を予定しています。

7. 当ご案内に関する問い合わせ先

技術サポートサービス契約先にお問い合わせください。

以上

【改訂履歴】

2021年2月5日	初版作成
-----------	------